

HOSEI University
景觀研究室
2025



読む知×動く知

景観研究室の活動は、読む知と動く知の往来です。

まちがより良い姿になっていくためには何が必要なのか。

それを解き明かすためには、私たちは2種類の知を使いこなします。

読む知

本や地図のような資料を丹念に読み解き、新しい知識を得た上で議論します。



文献や地図からさまざまな事実を読み取ることができます。多くの文献を読む事で過去のできごとの実像が見え、様々な地図を重ね合わせることで都市の歴史が浮かび上がります。



街の景観はさまざまな要素で成り立っています。たとえば造園の専門家に並木や植栽の解説を受けながら神宮外苑を歩くとこれまで知らなかった世界が見えてきます。



一人で読むだけでは見えてこないものもあります。そんなときは、研究室のメンバーや先生方と議論を交わすことで、思いもよらなかった視点に気づくことができ、立体的に物事が見られるようになります。

動く知

現地を訪れ、地域の人々の声を聴いた上で計画を提案し、具体的に行動します。



実際に現場を訪れることで、地域の暮らしのリアルな姿に触ることができます。地域の水利用施設がどのように使われ、どのように管理されているかを聴き、地域の現状や持続可能性について深く考えられるようになります。



地域景観の価値は事実から読み取れるものだけではありません。人々の思い出を丁寧に聞くことで地域の重要な風景を浮かび上がらせ、地域の将来像を描くことができます。



景観価値を作るものはハードの整備だけではありません。たとえば外濠の水上テラスでコンサートを企画・運営することで、これまで注目されてこなかった場所の新たな使い方や魅力を引き出すことができます。

研究室での学び

この橋はどうしてこのような構造なのか、この地域の植生はどうしてこうなっているのか、地域の産業は何とかかわっているのか、まちに出れば室内にいるだけでは分からず様々な発見があり、それらは自分たちのまちに対するを深めてくれます。

1 まちあるき

景観研では、毎年3年生のゼミナールの一環として、研究室全体でまちあるきや見学会を実施しています。

1)解説者を招いたまちあるき

デザイナーや設計者に現地を解説していただきながら歩く貴重な体験です。設計までのプロセスや地域の課題解決に向けた手法を学ぶことができます。

2024年度のまちあるき

タイトル	解説者
① 横浜のアーバンデザイン	桂 有生さん (横浜市都市デザイン室)
② 和泉川のかわづくり	吉村 伸一さん (吉村伸一流域計画室)
③ 神宮内外苑と代々木公園の設計	松崎 喬さん (大日本ダイヤコンサルタント)
④ 月島・晴海の小橋梁	東京都港湾局 山田 裕貴さん(Tetor)



まちあるきでの発見

これは石積みでしょうか?
よく見ると、石と石の隙間が十文字になっており、強度が弱くなってしまうダメな積み方です。実際にこの写真は石積みではなく、石の裏側にあるアンカーで石を固定している構造でした。



吉村伸一さんによる河川デザインの解説

こんな工夫が
されているんだ!



3) 東京の近代遺産を巡る見学会

1991年から行われている東大景観研の伝統的な行事で、2014年からは法政景観研と共同で開催しています。両大学の学生が中心となって企画・運営・見学中の説明を行います。普段何気なく過ごしている大都市東京の歴史を学ぶことができます。



先輩と歩いて



M1の解説によるまちあるき



2年生に向けて発表!



水上バスに乗って桁裏を見よう

2 ゼミ合宿

ゼミ合宿は景観研最大のイベントであり、学生が主体となって企画を行います。単なる観光旅行とは違い、事前学習をした上で、先生の解説を聞きながら専門的な目線で風景を読み解くことが可能となるため、景観を考える感覚が磨かれます。

2024年度は高知・四万十を訪れました!四万十は景観研究室にも福井先生にも縁が深い場所です。3泊4日の中で、河川生態実習(黒尊川)や特別栽培米(大野見地区), 雲の上の図書館(梼原町)など、都心の市ヶ谷では感じられない文化的な景観を、身をもって体感しました。ゼミ合宿を通じて、風景を読み解く考え方を学びました。



大野見の農業を支える堰の見学



大野見米の米蔵を見学



国土交通省事務所での川の解説

学びの広がり

景観研究室の学生は、他機関が主催する演習やプログラムにも積極的に参加しています。このような経験は新たな視点や問い合わせをもたらし、学びの幅を広げています。

1 九州デザインシャレット

九州デザインシャレットは風景デザイン研究会が主催する地域密着型の設計演習プログラムです。

2024年度は長崎県で開催されました。全国から集まった学生や若手技術者がチームとなり、専門家や実務者と交流しながら3泊4日という短い時間で設計を行います。



デザインレクチャー

完成模型

2 石積み学校

東京科学大学の真田純子教授が主宰する「石積み学校」は、棚田や段畑などの傾斜地で農業を行うための基盤である石積みを積み直して修復するイベントです。2024年度は徳島県とイタリアで行われ、イタリアには景観研から2名が参加しました。



修復完了!

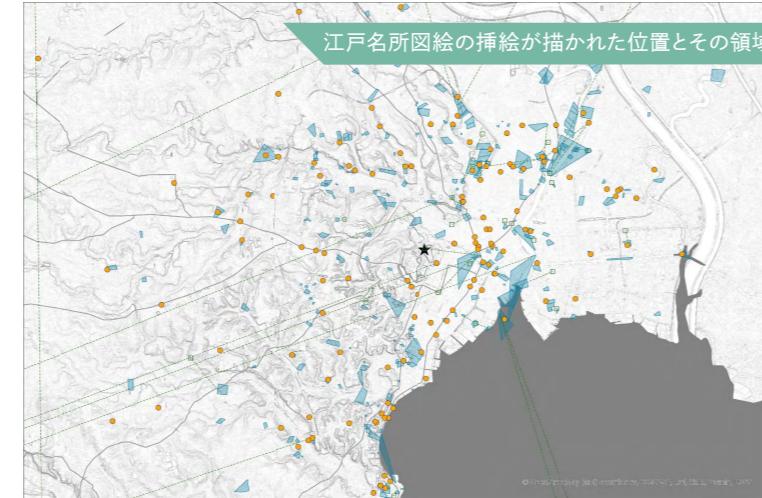
社会との関わり

景観研が携わるプロジェクトの多くは、地域住民や他大学部の学生、民間企業との連携によって進められています。地域の変化に向き合い、何を保全して、何を変えていくのかを模索する。その問いに実践的に向き合うことができます。

1

江戸東京アトラス

江戸東京アトラスでは、景観研と米家志乃布教授および文学部地理学科の学生が共同で、江戸東京の名所景観をGIS上に表現する研究を行っています。2024年度は「江戸名所図会」に描かれた描写情報から、江戸の景観構造の特徴を明らかにしました。



2

外濠市民塾

都心の貴重な水辺空間である江戸城外濠を将来に活かすため、大学・高校・民間企業などが集まり、地域の方々と共に知識共有や将来像の議論およびその展開を行う活動です。学生は、まちあるきの実践、水辺空間を活用したイベントの企画・運営、それらの情報発信などに取り組んでいます。



3

郡上八幡水の学校

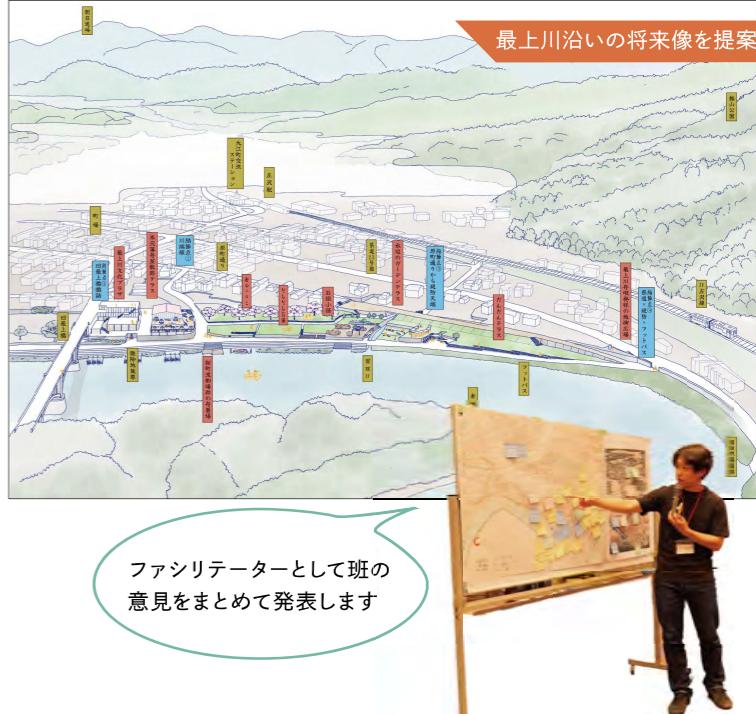
岐阜県郡上市八幡町は、水と人々が密接に関わってきた歴史のあるまちです。「郡上八幡水の学校」では、水利用の実態について調査を行い、水の都として地域全体でどのような取り組み・体制があるのかを明らかにしました。また「あまごのつかみどり」の運営を行い、地域の子どもたちが川と触れ合う機会を提供しました。



4

最上川かわまちづくり

山形県大江町では、重要文化的景観「最上川の流通往来と左沢町場の景観」の保全と活用を目的に、かわまちづくり計画が進められています。学生は、住民参加型のワークショップにて、議論を進行するファシリテーターを務め、住民の地域の認識や思い出などを聞き取りました。そして、住民からいただいた意見を整理し、最上川と地域の密接な関係を保全したまちの将来像を提案しました。



5

佐原プロジェクト

千葉県香取市の佐原地域における、町の成り立ちと構造に関する調査・研究を行っています。2024年度は、人間環境学部小島聰教授ゼミと合同で、昭和期の子どもたちの行動についてヒアリングを行い、町内の使われ方について分析しました。



6

おおたオープンファクトリー

伝統的な町工場が残る大田区のイベント「おおたオープンファクトリー」で、町工場の魅力を分かりやすく伝えるお手伝いをします。展示物を作成したり、ワークショップを開催することで、区民と町工場の交流を創出します。



最上川沿いの将来像を提案

当日のご案内と説明を担当

卒業論文・修士論文

研究室の学生がもっとも時間を割いて取り組むのが卒論・修論です。すべて異なるテーマで「誰も知らない新しい成果を見つける」ための研究は、3年生までの授業とは全く異なります。テーマや目的の設定・既往研究のレビュー・調査方法の検討・データの分析・結果の考察、研究発表プレゼンテーションなどを、指導教員や先輩と議論しながら学生自身が主体的に進めます。景観研では多様なテーマを取り扱っており、研究手法も様々です。

空間から読み解く

地形や街路などの物理的構造や洪水などの現象を取り扱います。現地確認した上で、GISデータからネットワーク構造解析を行い街路網の特徴を把握したり、洪水時の氾濫解析により現象を詳細に把握したりします。地域の空間的特徴や成り立ち、災害リスクなどを客観的に明らかにし、地域の将来ビジョン検討に役立つ知見や分析手法を追究します。

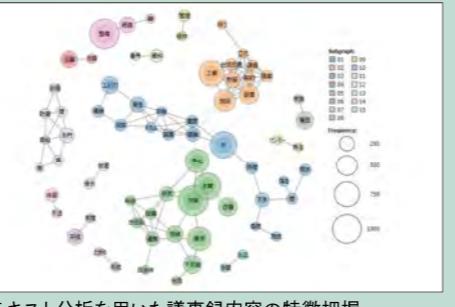
2024年度の論文テーマ
○ 泛濫流解析による震災の機能分析—千曲市杭瀬下地区を対象として—/江面優大(修論)
○ 江戸名所図会の挿絵描写に着目した江戸の景観構造分析/大旗望(修論)
○ 重要文化的景観を保全する氾濫許容型治水計画—最上川・大江町百目木地区を対象に—/鴨潤矢(修論)
○ 川沿い土地利用の合理性に関する水理学的検証—四十万町小野集落を対象に—/柳怜美(卒論)
○ 街路網携帯に着目した港町の一体性分析/岩田健吾(卒論)



文献から読み解く

社会状況やプロジェクトの経過を示す新聞記事・写真・議事録などを取り扱います。文字情報に対するテキスト分析などの統計的手法や、図面や写真の読解など様々な情報を探し出します。都市問題の歴史的要因、都市に関する価値観、計画・デザインの検討過程などを明らかにし、今後の都市のあり方の議論から個別のデザインに資する知見を得ます。

2024年度の論文テーマ
○ 都市河川の環境改善に向けたコミットメントの全体像に関する研究
—清流復活事業以降の呑川を対象として—/池内勇樹(卒論)
○ 住民参加による公園デザインの検討過程
—千代田区東郷元帥記念公園改修計画を対象に—/稻垣舞子(卒論)
○ 写真発信手法の時代変化に応じた風景写真描写の変遷
—明治から現代の浅草を対象に—/片桐泰知(卒論)
○ 歌舞伎町シネティ広場のデザイン変遷とその社会的背景/津田蓮太(卒論)



人の声から読み解く

アンケート調査やヒアリング調査によって人々の声を丁寧に聞き取り、地域に対する愛着や誇り、昔からの慣習や暮らしの知恵などの情報を集めます。これにより統計データや文献だけでは見えてこない地域のリアルな姿を把握し、地域の特徴や文化的価値を描き出します。これらから今後の地域のあり方を議論する知見や、継承すべき資源を明らかにします。

2024年度の論文テーマ
○ 郡上八幡における伝統的水利施設群の管理変遷/川上健太(修論)
○ 佐原における近世自治組織「町内」由来の地域コミュニティの活動/土田涼華(修論)
○ 大江町左沢地域住民の最上川に関する原風景の形成/直川裕希(卒論)
○ まちづくり活動における「まちの歴史」の認識と活動への展開/福岡美智(卒論)



研究室に入ったら参加・発表は必須!
他の研究者の発表も参考になる!
他大の学生や先生、実務者と知り合いになる!

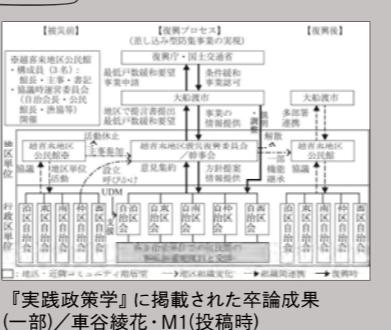
学会発表

卒論の成果は翌年度に学会発表を行い、修論はM2時に中間成果を学会発表します。発表時間は学内審査より長く、同分野の研究者が質疑を行うため、充実した議論ができます。2024年度は卒修論合わせて9名が学会発表を行い、M2大旗望が優秀ポスター賞を受賞しました。



査読付き論文

査読付き論文とは、論文集に投稿し、同分野の研究者の査読(チェック)を受けて公表されたものです。査読付き論文だけが信頼に足る論文として認められたものです。景観研では査読付き論文に投稿できるレベルを目指して研究を進めており、年間数本の研究成果を投稿しています。



景観研の先生紹介

景観研では様々な経験の先生方と研究に取り組んでいます。どんな方々なのかインテビューしました。



経歴
清水建設株式会社
→東京大学社会基盤助手
→国交省国土技術政策総合研究所研究官
→東京大学都市持続再生研究センター特任准教授
○法政大学都市環境デザイン工学科教授

仕事内容
大学での教育研究の他に、河川・橋・公園・駅などのデザイン検討、自治体の景観に関する委員など



経歴
東大社会基盤専攻
→ダルムシュタット工科大学
→名古屋大学環境学研究科特任助教
→株式会社EAU、早稲田大学非常勤講師
○アトリエ言語、法政大学EA

仕事内容
-アトリエ言語:リサーチ・取材・ライティング・翻訳・イベントの企画運営など
-（社）計画・交通研究会の事務局
-地域活動:(池上まちみやプロジェクト、池上こどものまち、呑川の会、おおたオープンファクトリー)

- どのようなところに研究の関心がありますか
私が学外でお付き合いするのは景観の専門家ではありません。だから景観の意味や関心を説明できるような研究成果をあげたいです。川や港など水に関連するまちづくりの本質、災害を見据えた地域やインフラの計画。地域の未来を構想・計画する上で必須の地域のなりたちや社会的な仕組みの理解など、理系も文系もごちゃまぜです。
- どのような学生の指導方針ですか
卒修論については、こまめに進捗は確認しますが、最終的には自分で考えられることを前提に指導します。それ以外の専門性については、現場を見て、片っ端から本を読み、外での人の出会いや挑戦のチャンスをできる限りかして欲しい。
- 景観を勉強するときに「これだけは読んでおけ」という本を教えてください
『土木デザイン ひと・まち・自然をつなぐ仕事』
景観の仕事がどのようにプロジェクトとして実現するのかがわかります。

- どのようなところに研究の関心がありますか
学生時代に出会った「風景とは何か」という問いは、一生付き合っていくテーマです。その上で特に関心があるのは、留学体験を通して得た異文化比較の視点から捉える日本の都市文化の実態です。こうした関心から、現在は「散歩」に着目した研究に取り組んでいます。また、自身が地域活動として取り組んでいる「地域史の共有」や「こどものまち」といった実践的なテーマには、研究対象としても関心を寄せています。
- どのような学生の指導方針ですか
指導するというよりは、共同研究者として、少しでも深くて楽しい議論を交わすことのできる関係を目指しています。すぐには難しいかも知れませんが、少しづつでもそれができるようにサポートしたいです。
- 景観を勉強するときに「これだけは読んでおけ」という本を教えてください
ぜひ「歳時記」を手にとってみてください。



経歴
東大文III→東大社会基盤専攻
→STUDIO4℃
○TrussHouse
○東京大学社会基盤学専攻研究生
○法政大学都市環境デザイン工学科兼任講師

仕事内容
アニメーション制作、夜更かし



経歴
有限会社小野寺康都市設計事務所
→塞地土木研究所地域景観ユニット専門研究員
→東京大学大学院社会基盤学専攻学術支援専門職員
→東京大学大学院社会基盤学専攻助教
→東京大学大学院新領域創成科学研究科国際協力学専攻員連携研究員
○法政大学都市環境デザイン工学科兼任講師
○株式会社上條・福島都市設計事務所共同主宰
○九州大学大学院比較社会文化研究院学術研究者

仕事内容
株式会社上條・福島都市設計事務所という設計事務所を共同主宰しています。詳しくは会社のウェブサイトを見てみてください。

- どのようなところに研究の関心がありますか
「都市問題は社会問題である」という命題のもとに、遠くの社会問題を解決するために都市の良い/悪いの原因やメカニズムを明らかにすること。具体的には、現代人が抱える生きづらさの問題に対して公共空間やオープンスペースには何ができるのか、管理社会やリスク社会の現代において昔の日本が有していた豊かな空間のありかたはどんなものだったのか、海外とは何が違うのか、そして、人間の実存にかかせない都市空間とは何なのか、を考えること。
- どのような学生の指導方針ですか
学生のリミッターを外す。学生が社会人になって対等に再会したとして、一緒に働きたいと思える人にする。聞える人にする。「Thinking is the strength」(アーレント)
- 景観を勉強するときに「これだけは読んでおけ」という本を教えてください
①景観分野のバイブル『景観用語辞典』(彰国社)
②都市地理学・都市社会学の入門教科書
『都市社会学・入門 [改訂版]』(有斐閣アルマ)
『都市空間の地理学』(ミネルヴァ書房)など
③公共が目指す範囲『ニューヨーク公共図書館 エクス・リブリス』(映画)

- どのようなところに研究の関心がありますか
みなさんが景観とか、土木デザインとか、まちづくりと呼んでいるものの実際の現場では、各地域や生活文化の生き残りをかけた本当に切実な議論をしています。(一見違うように見えても)そこに寄与できる実践研究に取り組んでいます。
- どのような学生の指導方針ですか
研究は極めて創造的な活動なので、最初から決まったゴールを見定めて順序良く進むものではありません。また学生の作業の成果や知識の蓄積の状況によってこちらから教えてあげることも日々変わります。ただ、先のことが何もわからないとやつていて不安だと思うので、できるだけ毎回の相談では、今の作業内容の先にある成果のイメージ、社会でのニーズなどを具体的に共有して、次の一步まで進むモチベーションがあがるようにはしたいと思っています。
- 景観を勉強するときに「これだけは読んでおけ」という本を教えてください
特にないですね。景観は様々な分野と関連するものなので、本当に興味があれば歴史や、人、社会に関わるものから、デザインや技術に関わるものまで、片っ端から読めばいいと思います。読んだだけならえ方が豊かになります。一番よくないのは1、2冊読んで分かった気になること。

学生の日常

研究やプロジェクトに全力で取り組む学生たちは、どのような日常を送っているのでしょうか。
その日々の暮らしや活動の裏側を、少しだけのぞいてみました。



T.K(修士1年)

授業やプロジェクトの作業に必要な時間を確保できるスケジュールを立て、アルバイトは週に3,4日入れるようにしています。土日は基本的にはプライベートな時間ですが、月に1回くらいは学会やプロジェクト関係で現地調査に行くチャンスもあります。卒論発表の1か月前からはアルバイトは入れないで卒論に集中できるようにしていました。

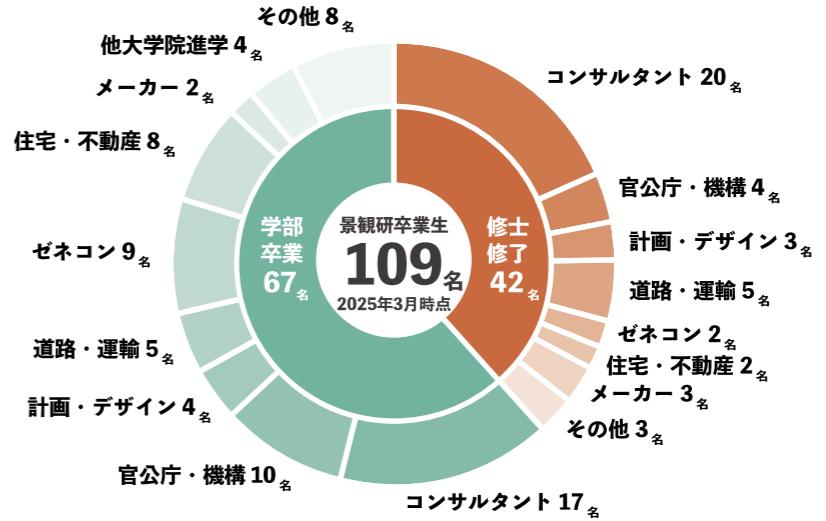
mon	tue	wed	thu	fri	sat	sun
8:30 登校 定例会 毎週月曜9:40～1週間の計画を共有します。	12:00 下校 アルバイト 景観研OGの紹介で建設コンサルタントで作業補助を行っています。	15:00 登校 授業(1,2限) 空間情報デザイン学部生よりも専門性の高い授業を受けることができます。	18:00 授業(4限) 社会基盤と資産管理	12:00 登校 論文ゼミ 論文生は隔週で発表を行い、研究室全体で論文を議論していく場です。	15:00 学会聴講 年に数回学会が開催されます。他の大学の研究者の発表を聴講し、交流することで人脈を広げるとともに学問への理解を深めます。	18:00 就職活動 景観研の活動からやりたい分野や仕事が見つかるかもしれません。
12:00 下校 パンフレット制作 今年度のパンフレット制作を行います。	15:00 プロジェクト ETOの会議のための資料を作成します。	18:00 論文相談 先生と投稿論文についての話し合いを行います。	12:00 下校 読書 研究室にはたくさん本があり、その中から気になった本を読みます。	15:00 TA(3,4限) 導入セミナー 大学院生になると、TAとして学部生の授業をサポートします。	18:00 下校 プロジェクト 友達とご飯! リフレッシュに友達とご飯にきました!	12:00 就職活動 景観研の活動からやりたい分野や仕事が見つかるかもしれません。
15:00 授業(4限) 社会基盤と資産管理	18:00 卒論サポート 論文はチーム作業!卒論の内容について徹底的に議論します。	15:00 読書 研究室にはたくさん本があり、その中から気になった本を読みます。	18:00 下校 アルバイト スーパーマーケットでアルバイトをしています。	15:00 下校 友達とご飯! リフレッシュに友達とご飯にきました!	18:00 就職活動 懇親会 他大学の先生や学生と仲を深められる機会です。	15:00 就職活動 景観研の活動からやりたい分野や仕事が見つかるかもしれません。
18:00 下校	18:00 下校	18:00 下校	18:00 下校	18:00 下校	18:00 就職活動 懇親会 他大学の先生や学生と仲を深められる機会です。	18:00 アルバイト

研究室スナップ



卒業生の進路

景観研究室の卒業生は、建設業界を中心に幅広い分野で活躍しています。
研究室ができた2012年度から、卒業生がどのような業種に進んだのかを集計しました。近年は大学院進学が増えています。



業種	学部卒業	修士修了
コンサルタント	セントラルコンサルタント、日本エンジニアリング、ジオサーチ、総合技術コンサルタント、建設技術研究所、東急設計コンサルタント、東京建設コンサルタント、オリエンタルコンサルタント、国際開発コンサルタント、中日本ハイウェイエンジニアリング東京、東急エンジニアリング、三井共同建設コンサルタント、トーニチコンサルタント、日本工営都市空間、中央コンサルタント、八千代エンジニアリング	オリエンタルコンサルタント、オオバ、パシフィックコンサルタント、アイ・エス・エス、大日本ダイヤコンサルタント、中央復建コンサルタント、建設技術研究所、東京建設コンサルタント、八千代エンジニアリング、日本工営都市空間
住宅・不動産	大和ハウス工業、住友不動産シスコン、一条工務店、タカラーベン、三菱地所リテールマネジメント、NTT都市開発ビルサービス、東急コミュニケーションズ	大和ハウス工業、JR東日本都市開発
官公庁・機関	草加市、千葉市、板橋区、横浜市、さいたま市、千葉県、茨城県、静岡県、福岡県、都市再生機構	流山市、都市再生機構
計画・デザイン	類設計室、乃村工藝社、DO設計、Tetor	ハートビートプラン、日本設計、都市環境研究所
道路・運輸	中日本高速道路、西武鉄道、小田急電鉄、JR東海	東日本高速道路、京成電鉄、京王電鉄、東武鉄道
ゼネコン・建設	鹿島建設、大成建設、鉄建建設、五洋建設、前田建設工業、戸田建設、三井住建道路	三井住友建設、鉄建建設
メーカー	三井化学東セロ、LIXIL	東芝、ヨシモトボール、クボタ
他大学進学	東京工業大学大学院、熊本大学大学院、Politecnico di Milano	—
その他	東京ガスリックリビング、Sony Music Artists、オリエンタルランド、富士通、Ridgeline	バレエダンサー・バレエ教室講師、東邦レオ

卒業生インタビュー

安孫子翔さん (2023年学部卒)

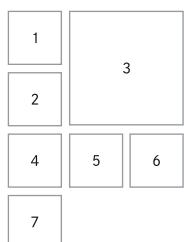
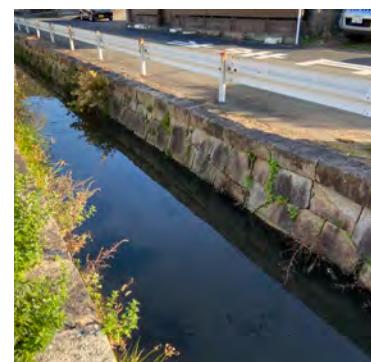


- 景観研に入った理由
もともと景観デザインやまちづくりに対して興味があった。景観研ではまちあるきやプロジェクトが数多くあり、まちの歴史や構造など幅広い知識を学べる環境にあった。それがいろいろなことに興味を持つ性格の自分に合っていると思った。
- 今のお仕事に生きている景観研での経験
自分の感じたことを言語化してみんなに伝えることの大切さ。仕事はチームでやることが基本。意見を言葉にして伝えること、伝わりやすい資料をつくることは仕事にも生きているなと感じる。
- 学生時代にやっておいた方がよいこと
グループで取り組むようなプロジェクトやコンペなどに挑戦すること。本を読むこと。社会人になるとなかなか時間が取れない。
- 未来の景観研の学生に向けて一言
自分の思っていることや考えていることを言葉にする。そして先生、先輩、同期に共有してみることで新たな気づきもある。積極的な姿勢で、研究活動を頑張ってください！

志村 遥奈さん (2023年修士修了)



- 景観研に入った理由
福井さんの人柄にひかれた。学部2年生のとき、進路のことで悩んだときに親身に相談に乗ってくれ、社会を見据えたアドバイスをくれた。そのような福井さんのもとで活動したいと思ったから。
- 今の仕事に生きている景観研での経験
学生だけでなく社会人ともコミュニケーションをとり人脈を広げること。実際に景観研で知り合った人と共に仕事を行った。
- 景観研での印象的なプロジェクト
沼津内膳堀プロジェクト
現地調査からデザイン検討まで実際に建設コンサルがやる内容が取り組めたから。
- 学生時代にやっておいた方がよいこと
いろんな所に行って、いいものを見ること。仕事に染まっていい目線で見られるのは今のうちだけ。
- 未来の景観研の学生に向けて一言
景観研に行けばなんでもできる！
いろんなことがやりたい人におすすめです！



- 研究室での活動を通して風景の中から読み取れるようになるもの
1. 千葉県香取市 - 醤油業の町屋と舟運のためのダム（荷場場）
 2. 高知県四万十市 - 洪水から農地を守るセルフビルの石積堤防
 3. 山形県大江町 - 川沿いのそれぞれの宅地から川に下りる階段
 4. 東京都千代田区 - 中央線重層化の構造デザインの工夫
 5. 岐阜県郡上市 - 地域住民が管理する共用の水利用施設
 6. 静岡県沼津市 - 住宅街の中にある世界かんがい遺産の内膳堀
 7. 東京都千代田区 - 道路用地と民有地の境界を超えた歩道整備

表紙: 小駄良川の水辺 (岐阜県郡上市)

Hosei University 景観研究室 vol.11

2025年7月発行

SNS

活動を随時更新中!!



Website



Instagram



Facebook

発行者

法政大学 デザイン工学部 都市環境デザイン工学科
法政大学大学院 デザイン工学研究科 都市環境デザイン工学専攻
景観研究室
〒102-8160 東京都千代田区富士見2-17-1

編集者

景観研究室13期生
池内勇樹 一柳怜美 稲垣舞子 岩田健吾 片桐泰知
土田涼華 戸川由聖 直川裕希 兵藤心